

年 組 名前

不動産と造園業タッグヤギ、羊派遣

1 一宮市千秋町の不動産仲介業、安藤寿さん(四四)と春日井市神屋町の造園業、松野裕介さん(四四)が、空き地などにヤギと羊を派遣して雑草を食べてもらうビジネスに乗り出した。名付けて「アニマル空き地管理事業」。人手不足の解消やコスト削減につながる狙いで、二人は「ヤギたちは喜ぶし、私たちは助かる。環境にも優しい。昔ながらの究極のエコロジーを取り戻せたら」と話す。

(高本容平)



空き地でヤギの親子を見守る安藤さんと松野さん

空き地のう×エ〜除草法

- 2 「メエー」。一宮市内の六百平方メートルほどの空き地で、ヤギ三匹と羊二匹が、もりもりと草を食べていた。
- 3 事業を始めたきっかけは昨秋。安藤さんが、知人だった松野さんに売り地の草刈りを依頼したところ、「人手が足りない」と断られた。その際、松野さんが「ヤギを活用した除草サービスができないか」と持ち掛けた。元々、動物による除草に関心があり、自社でヤギと羊を飼っていた松野さん。早速、岩倉市内にある安藤さんが所有している土地にヤギ三匹と羊二匹を放したところ、一カ月弱で約六百六十平方メートルに生茂っていた雑草をきれいに食べ尽くしてくれた。
- 4 ヤギは一匹だと寂しくなり、仲間を求めて鳴くため、必ず二、三匹を派遣。逃げないよう、鉄製の柵を設けるほか、必要に応じて防犯カメラを設置し、いたずらや犯罪を防ぐ。機械を使わないため騒音の心配がなく、狭い場所や傾斜のある土地でも除草ができる。
- 5 「雑草は堆肥にしにくく、燃やしたり処分しないといけないが、ヤギ除草ならそれも不要です」と松野さん。「昔は家で普通にヤギを飼って、その乳を飲み、畑や庭の草を食わせていた。動物と人間が共生する文化を大切にしたい」と思いを語る。

※ 本文の段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

問1：第1段落の「究極のエコロジー」について、具体的に書かれているのは第何段落でしょう。 第()段落

問2：次の熟語と同じ成り立ちの熟語をア～オから選びましょう。

- ① 削減 () ② 知人 () ③ 除草 ()

ア 親子 イ 究極 ウ 防犯 エ 騒音 オ 不要